

目標を達成するための計画として、各学年次・次期に、以下のような指標を設定し、履修カルテを用いて、教職課程の授業科目の履修や教職課程外での様々な活動を通じて、学生が身に付けた資質能力が、教員として最小限必要な資質能力として有機的に統合され、形成されたかについて確認する。

各段階における到達目標(中学校・高等学校一種免許状(英語))

履修年次		到達目標
年次	次期	
1年	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校・高等学校の英語教育に資する英語学の基礎的知識を修得する。 ・英米の古典的文学作品の鑑賞を通じて、イギリスとアメリカの文化や社会、歴史、イギリス英語とアメリカ英語の違いを理解する。 ・キャリアガイダンスを通じて他の職業と比較して教職の特色について理解する。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会における教職の重要性の高まりを背景に、教職の意義、教員の役割・資質能力・職務内容等について身に付け、教職への意欲を高め、さらに適性を判断し、進路選択に資する教職の在り方を理解する。 ・教育の基本的概念は何か、また、教育の理念にはどのようなものがあり、教育の歴史や思想において、それらがどのように現れてきたかについて学ぶとともに、これまでの教育及び学校の営みがどのように捉えられ、変遷してきたのかを理解する。 ・現代教育の課題を明らかにし、教職に就く者としての基礎的教養と学校教育についての自己の考え方を確立していくための力を修得する。 ・アメリカ文学作品の分析を通じて、中学校・高等学校の英語教育に資するアメリカの文化、社会、歴史に関わる基礎的知識を修得する。 ・中学校・高等学校の英語教育に資するコミュニケーションの理論を理解し、基礎的な知識を習得する。 ・中学校・高等学校の英語教育に資する英語学の発展的知識を修得する。 ・教職ガイダンスを通じて、教職課程履修の概要と履修手続きを理解し、履修カルテを作成する。 ・学校ボランティアの意義を理解し、主体的に取り組む意欲を確認する。
2年	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の心身の発達及び学習の過程について、基礎的な知識を身につけ、各発達段階における心理的特性を踏まえた学習活動を支える指導の基礎となる考え方を理解 ・学習指導要領を基準として各学校において編成される教育課程について、その意義や編成の方法を理解するとともに、各学校の実情に合わせてカリキュラム・マネジメントを行うことの意義を理解する。 ・生徒指導について、他の教職員や関係機関と連携しながら組織的に生徒指導を進めていくために必要な知識・技能や素養を身に付ける。また、進路指導について、キャリア教育の視点に立った授業改善や体験活動、評価改善の推進やガイダンスとカウンセリングの充実、それに向けた学校内外の組織的体制に必要な知識や素養を身に付ける。 ・通常の学級にも在籍している発達障害や軽度知的障害をはじめとする様々な障害等により特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒が授業において学習活動に参加している実感・達成感をもちながら学び、生きる力を身に付けていくことができるよう、幼児、児童及び生徒の学習上又は生活上の困難を理解し、個別の教育的ニーズに対して、他の教職員や関係機関と連携しながら組織的に対応していくために必要な知識や支援方法を理解する。 ・中学校・高等学校の英語教育に資する英語学の専門的知識と言語材料(文字・音・語彙・文法・表現)の理解を深める ・英語の発音、イントネーション、リズム、アクセントの仕組みを理解し、技能を習得す ・異文化を繋ぐコミュニケーションの手段のひとつである翻訳に関わる知識・技能を修得する。 ・中学校・高等学校の英語科授業の指導に必要な基本的知識・技能を修得する。 ・中学校・高等学校の英語教育に資する異文化コミュニケーション学の基礎的理論を修得する。 ・介護等体験(社会福祉施設)の意義及び実施に関わる諸事項について理解する。(中学校のみ)
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・現代の学校教育に関する経営的事項のいずれかについて、基礎的な知識を身につけるとともに、それらに関連する課題を理解する。なお、学校と地域との連携に関する理解及び学校安全への対応に関する基礎的知識も身に付ける。 ・学校教育全体における特別活動の意義を理解し、「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」の三つの視点や「チームとしての学校」の視点を持つとともに、学年の違いによる活動の変化、各教科等との往還的な関連、地域住民や他校の教職員と連携した組織的な対応等の特別活動の特質を踏まえた指導に必要な知識や素養を身に付ける。また、各教科等で育まれる見方・考え方を総合的に活用して、広範な事象を多様な角度から俯瞰して捉え、実社会・実生活の課題を探究する学びを実現するために、指導計画の作成 および具体的な指導の仕方、並びに学習活動の評価に関する知識・技能を身に付ける。 ・公共と道徳の本質を理解し、中学校の「特別な教科 道徳」の教材解釈に関する知識を修得する。 ・イギリス文学作品の分析を通じて、中学校・高等学校の英語教育に資するイギリスの文化、社会、歴史に関わる基礎的知識を修得する。 ・異なる言語・文化圏で起る全ての事象を「記号現象」として捉える文化記号論の理解を通じて、多文化共生社会の構築に資する中学校・高等学校の英語教育に関わる基礎的知識・技能を修得する。 ・中学校・高等学校の英語科授業の指導に必要な発展的知識・技能を修得する。 ・介護等体験(特別支援学校)の意義及び実施に関わる諸事項について理解する。(中学校のみ)
3年	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳の意義や原理等を踏まえ、学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育及びその要となる道徳科の目標や内容、指導計画等を理解するとともに、教材研究や学習指導案の作成、模擬授業等を通して、実践的な指導力を身に付ける。 ・教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)では、これからの社会を担う子供たちに求められる資質・能力を育成するために必要な、教育の方法、教育の技術、情報機器及び教材の活用に関する基礎的な知識・技能を身に付ける。 ・生徒の発達の状況に即しつつ、個々の心理的特質や教育的課題を適切に捉え、支援するために必要な基礎的知識(カウンセリングの意義、理論や技法に関する基礎的知識を含む)を身に付ける ・異なる文化間、言語間に横たわる、様々なコミュニケーション上の問題の理解を通じて、異文化理解教育に関わる基礎的知識・技能を修得する。 ・中学校・高等学校の英語科授業の指導に必要な専門的知識・技能を修得する。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・教育実習生として学校の教育活動に参画する意識を高め、教育実習の意義を理解 ・中学校・高等学校の英語教育に資する母語と第二言語修得の共通点と相違点に関わる基礎的知識を修得する。 ・言語人類学における言語分析、コミュニケーション分析を通じて、中学校・高等学校の英語教育に資する多言語文化共生に関わる基礎的知識・技能を修得する。 ・中学校・高等学校の英語科授業の指導に必要な高度な知識・技能を修得する。
4年	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・事後指導では教育実習を経て得られた成果と課題等を省察するとともに、教員免許取得までに修得すべき知識や技能等について理解し、これらを通して教育実習の意義を理解する。 ・教育実習は、観察・参加・実習という方法で教育実践に関わることを通して、教育者としての愛情と使命感を深め、将来教員になるうえでの能力や適性を考えるとともに課題を自覚する機会である。一定の実践的指導力を有する指導教員のもとで体験を積み、学校教育の実際を体験的・総合的に理解し、教育実践ならびに教育実践研究の基礎的な能力と態度を身に付ける。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・①使命感や責任感、教育的愛情等に関する事項、②社会性や対人関係能力に関する事項、③幼児児童生徒理解や学級経営等に関する事項、④教科・保育内容等の指導力に関する事項について到達度を確認し、補充し発展させる。